

平成26年度 宇都宮市立石井小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

【基本目標】

人間尊重の教育を基盤に、豊かな心と健やかな体を持ち、自らの課題を意欲をもって創造的に解決することができる、たくましく生きる力をもった児童の育成を目指す。

【具体目標】（目指す児童像）

健康で根気強い子 進んで学び よく考える子 心豊かで 思いやりのある子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

全職員が相互信頼と協働性を基盤に学校経営に参画し、目指す児童像に対応した教育活動の実践に努める。この教育活動を展開するために、次の「目指す学校像」を設定し学校経営を推進する。

【目指す学校像】

- (1) 明るく 活力のある学校
 - ・分かる授業が展開され、一人一人が生き生きと活動している学校
- (2) 温かく 居がいのある学校
 - ・認め合い、励まし合って、一人一人のよさや個性が発揮できる学校
- (3) 地域に開かれ 信頼される学校
 - ・保護者や地域との連携を強化し、協力し合って児童を育成する学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 人間尊重の精神を基盤とし、児童一人一人のもつ「持ち味」や「よさ」等を見取るとともに、児童とのふれ合いを通して、さらに認め伸ばし、豊かな心の育成に努める。
- (2) 一人一人の児童を多くの教職員で様々な視点から見取りながら、義務教育9年間を見通し、基礎・基本の定着を図るとともに、「分かる、楽しい授業」を展開し、新学習指導要領を踏まえた確かな学力の向上に努める。
- (3) 自他の生命を尊重し、児童・教職員一人一人が生き生きと前向きに安心して生活できる健康で安全な学校づくりの推進に努める。
- (4) 教育公務員としての自覚をもち、サービスを厳守するとともに、進んで自己研鑽に励み、自らの資質を高め、さらに、協働の精神を大切に、教職員・児童へ還元できるように努める。
- (5) 家庭・地域社会と連携を密にし、信頼と協力を基盤とする「開かれた学校づくり」に努める。
- (6) 小中一貫教育の推進を図るとともに、「石井小学校地域協議会」と連携し、児童の学習支援や安全確保、健全育成等、地域の教育力を生かした学校づくりに努める。

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学 校 運 営】 「地域協議会」との連携のもと、地域の教育力を活用した学校づくりの推進
(1)豊かな心の育成 (2)確かな学力の定着 (3)体力と気力の増進 (4)自主的・自立的な態度の育成
- 【学 習 指 導】 「豊かなかわりの中で、生き生きと活動する児童の育成」
～より思考を深め合える学習活動をめざして～
○(1)基礎・基本の確実な定着 (2)学習指導の工夫改善 (3)読書活動の充実
(4)家庭・地域との連携・協力
- 【児 童 生 徒 指 導】 「発達段階と個人差を踏まえた基本的生活習慣の確立を目指す児童の育成」
○(1)基本的生活習慣の育成 (2)規範意識や人権感覚・意識の醸成 (3)望ましい集団づくり
(4)個に応じた指導の充実 (5)家庭・地域・関係機関などとの連携
- 【健康(保健安全・食育)体力】 「自己の健康・体力についての理解を深め、その向上に努める児童の育成」
～保健指導や学級活動との関連をふまえた教科体育の工夫～
○(1)望ましい食生活の育成 (2)健康・体力の向上 (3)家庭・地域との連携

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印を付ける。

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	<p>A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は今の学校が好きである」 ⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 体験活動を重視した学習活動を行うことで、児童が自主性や主体性を発揮できるように留意する。</p> <p>② 学校行事や縦割り班による児童活動などで、児童が主体となり協力して参加できるような機会を多くもつ。</p>	B	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は92.9%→（保護者94.1%→、地域住民97.4%→）であり、昨年度に引き続き十分達成できている。継続的に行ってきた縦割り班を生かした活動や児童会活動を通して児童の主体性や思いやりの気持ちが育ってきている。</p> <p>【次年度の方針】 ・体験活動を重視した学習活動を展開したり、児童が主体的に活躍できる機会を増やしたりし、生き生きと活動する児童の育成に努めていく。</p>
	<p>A2 教職員は、組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答85%以上</p>	<p>① 教育相談「先生あのね」や保護者との懇談を通して一人一人のニーズを把握し児童理解に努める。</p> <p>② 授業のねらいを明確にし、分かる、楽しい授業を目指して、指導形態や指導方法、個に応じた支援を工夫する。</p>	B	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は97.7%↑（保護者92.3%→、地域住民100%→）であり、昨年度と同様の評価であり、十分達成できている。「心をつなぐ」教育が児童の心に響き、信頼関係が醸成されてきている。</p> <p>【次年度の方針】 ・教育相談の内容を充実させ、一人一人と十分に話し合うことで、児童理解に努めていく。 ・学習のねらいを明確にし、授業のねらいを達成するための効果的な活用を意識し、視聴覚教材や実物見本等、児童が興味をもって学習に臨めるような教材を使用して分かりやすく楽しい授業を行う。</p>
	<p>A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。」 ⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 「石井っ子の生活」を連絡帳に貼ることで家庭との連携を図り、自己評価により振り返りをさせることで、学習や生活のきまりの徹底に努める。</p> <p>② 2週間ごと生活目標を決め、掲示したり朝会等で伝えたりするとともに、帰りの会等で振り返る機会を位置づけて決まりやマナーの意識づけをし、規律正しく生活しようとする態度の育成に努める。</p>	B	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は79.8%↑（保護者90.6%↑、地域住民91.2%↑）児童の肯定的回答は昨年度より上昇し、概ね目標値に到達している。一昨年前より下回った昨年度の肯定的回答率を、児童、保護者、地域住民共に上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・生活目標の設定の仕方については、子ども達の意識を高めるために、細かく具体的な言葉で設定する。 ・朝の会を活用し、今週の目標を児童の手により周知させる。 ・週番が見回り指導の工夫をしていく。 ・生活目標を学年だよりに掲載したり、「石井っ子の生活」の振り返りの結果を配付したりして、保護者と協力・連携して、決まりやマナーの意識づけをし、規律正しく生活しようとする態度の育成に努めていく。 ・全教職員で児童に声かけを行っていく。</p>

	<p>A4 分かる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。[全]</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「授業が分かりやすく、丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答85%以上</p>	<p>① 学校課題のテーマである、「より思考を深め合う学習活動」の研究をとおして、わかる授業の実践に努める。</p> <p>② 習熟度別学習や少人数学習、TTによる指導を通して、児童一人一人の学習状況に応じたきめ細かな指導に努める。</p>	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は94.8%↑（保護者83.4%↓、地域住民95.5%→）と、2年間継続してテーマや目標を明確にし、算数を中心にきめ細かい指導を行ってきた成果が児童に出てきていると思われる。</p> <p>【次年度の方針】 ・豊かなかかわりの中で、いきいきと活動する児童の育成」をテーマとし、より思考を深め合う学習活動をめざし、学習のねらいに迫るための効果的な言語活動のさせ方について研究し、児童がいきいきと学習し、ねらいに沿って考えを深め合えるような表現力等を育てていく。 ・一人一授業を継続し、個々の授業力を図っていく。</p>
	<p>A5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。[全]</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 「いじめ問題」や「生命尊重」を題材とした道徳の授業を実施したり、児童に「いじめ0集会」に主体的に取り組ませたりすることで、いじめ未然防止に努める。</p> <p>② 年4回の「いじめアンケート」や年2回の教育相談、通年の児童指導委員会を活用し、いじめの早期発見に努めるとともに指導に生かす。</p>	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は97.5%↑と高い数値を示している。年4回の「いじめアンケート」や年2回の教育相談週間において、教師が児童に寄り添い、親身になって対応している結果と思われる。</p> <p>【次年度の方針】 ・道徳の授業や集会活動、定期的なアンケートや教育相談の充実を図ることで、未然防止、早期発見早期対応に努めていく。 ・教育相談期間の日課は、本年度試験的に行った日課を採用し、クライアントでない子への指導も十分配慮していく。 ・いじめゼロ集会における標語の募集呼びかけや低中高の代表標語のクラスへの周知がとても効果的であった。時期的なものを踏まえ、人権週間と重ならず良かったので、次年度も継続して行う。 ・いじめについての授業では、NHK テレビ番組を活用し、考えさせるといったことも考えていく。</p>
<p>教育全体の状況</p>	<p>A6 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている[全]</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校での生活や様々な活動が充実している」 ⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 学校行事は、その都度評価反省を行い、改善点について検討し次年度に生かす。</p> <p>② 学校評価を検証し、児童や保護者、地域の方々の願いや思いを生かした教育課程の実施に努める。</p>	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は92.4%↑（保護者96.3%→、地域住民100%→）であり、児童の肯定的回答は昨年度を上回り、十分達成できている。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校行事終了後反省を行い、次月の職員会議で反省事項を全職員で共有し、次年度に生かすようにする。 ・学校評価の反省を生かした行事見直しを図り、児童がさらに充実した学校生活を送れるよう取り組む。</p>
	<p>A7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。[全]</p> <p>【数値指標】</p>	<p>① オープンスクールを含め学校公開を年間8日実施する。また、学校行事公開や、地域のボランティアとの連携を深めるなど、開かれた学校づくりに努める。</p>	<p>【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は92.0%↓（地域住民94.9%↓）であり十分達成できているが、昨年度を下回っており、開かれた学校づくりに向けた取組及びその情報提供の仕方等について検討・実践し、理解が得られ</p>

学校運営の状況	<p>全体アンケートの「学校は学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>② 学年だよりや学校だよりをはじめ各種たよりを月1回は発行し保護者に取り組を知らせる。また、HPの定期的な更新を行い、地域・保護者に情報を提供する。</p>	<p>るよう努力しなければならない。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各種たよりやホームページを通して積極的に情報発信・提供を行っていく。 各便りは、連絡にととまらず子どもの活動が見えるよう心掛けて作成し、保護者や地域住民に発信していく。 学校公開や学校支援ボランティアとの連携を通して、参観の機会を提供し、さらに、開かれた学校づくりを推進していく。
	<p>A8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。[全]</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」⇒保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 地域の学習素材を活用したり、地域人材と連携したりしながら、地区探検、農業体験、英語活動等の体験学習の機会を設定し、主体的に生き方を学ぶ児童の育成を目指す。</p> <p>② 地域協議会と十分に連携し、地域と保護者、保護者同士のつながりを深めることで、家庭の教育力向上をめざす。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の肯定的回答は92.4%↓（児童92.0%→、地域住民94.6%↓）と昨年度を下回る数値ではあるが、おおむね達成できている。学校関係者（家庭・地域・企業等）の連携・協りに感謝している。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度の取り組みを継続するとともに、さらに地域協議会と連携しながら、体験活動や啓発活動を充実させていく。 家庭・地域・企業との結びつきを更に強いものとするために、新たな学習素材や地域人材の発掘にも努め、教育活動の充実を図っていく。
	<p>A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。[全]</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、学習しやすく潤いのある環境である。」⇒保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 学校応援基金の活用やPTAとの連携により、さらに児童の学習に必要な設備や教材の整備を行う。校舎等施設の維持管理に努め、快適に使用できるよう定期的な安全点検と、点検後の早めの対応に努める。</p> <p>② 縦割り班のよさを生かして清掃し、全職員で指導にあたる。また、清掃マニュアルにより内容や役割分担を明確化させたり、強化週間を設けたり、清掃ボランティアの協力を得たりすることにより、清掃活動の充実を図る。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の肯定的回答は92.1%↑（児童87.4%↓、地域住民97.0%↑）であり十分達成できている。危険箇所への早期対応や児童の清掃活動への取り組みが評価されているものとする。来校者（ボランティア等）からも、古い校舎ではあるが清掃が行き届いているとのコメントをいただいている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度の児童の姿として見られた、上級生が下級生に教えたり、互いに声をかけあったりして、清掃に一生懸命取り組む態度を大切に、清掃指導の充実を図ることで、環境美化に努める。 安全点検を丁寧に、確実に実施することにより児童の安全確保に努める。 施設の維持管理と修繕への早期対応、学校応援基金の活用やPTAとの連携による教材や備品の整備に力を入れる。
	<p>B1 児童・保護者との信頼関係を築き、居がいのある学校づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>「教職員は、保護者と連絡を密にしながら指導に当たっている。」</p>	<p>① 教職員が、児童一人ひとりのよさに目を向けて褒めることをとおして、児童相互に認め合う態度を育成すると共に、自尊心をもった児童の育成に努める。</p> <p>また、その取組内容を保護者へ積極的に情報提供する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の肯定的回答は74.7%↓であり、目標値に至らぬ点について、学年会、校内対策委員会を活用し分析し、情報を共有しながら実践につなげていく。 <p>【次年度の方針】</p>

教育活動の状況	⇒保護者の肯定的回答80%以上	② 問題行動については組織を機能させた早期発見，早期対応に努め，家庭や関係機関と連携しながら解決に当たる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学年相応の学習の仕方を，具体的な例等を示しながら自主学習を進めてきているので，学習習慣が身に付き始めている。今後も継続指導を行う。 ・児童のよさを教職員全員によるたくさんの目で見取り，問題行動の早期発見に努め，保護者と密に連絡を取り合うことで信頼関係づくりに努めていく。 ・学年会，いじめ防止対策委員会を活用し，情報を共有する。
	<p>A10 児童は進んであいさつをしている。[全]</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「児童は時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 地域学校園での共同実施も含めて，あいさつ運動を年3回実施すると共に，あいさつ標語を作成・掲示し意識の高揚を図る</p> <p>② 学校と家庭・地域が連携して，地域全体であいさつを交わすよう，周知・啓発につとめる。</p> <p>また，地域協議会や保護者会の折に，あいさつはもちろんルールやマナーに係る教育活動について話題としてとりあげ，連携して取り組む体制を整える。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は85.0%→（保護者65.8%↑，地域住民85.0%→）であり，目標値は達成している。保護者は5ポイント上昇しているが，児童及び地域住民の肯定的回答率との差が20ポイント以上あるため，状況を把握し実践化に努めていく。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつは，まずは大人から。家庭内でも保護者は，あいさつされるのを待つのではなく大人から声をかけていくよう促す。 ・授業参観時などに市教委の先生などを招へいし，あいさつに関する講演会などを企画していく。 ・あいさつ運動が，4月（児童指導部会）9月（心の教育部会）1月（児童会）を中心に行われ，期間中は成果を上げている。期間中だけでなく，平日頃から様々な機会を捉えて啓発に努める。 ・陽東地域学校園で実施している，地域全体でのあいさつ運動を継続することで，意欲を高めていく。（ ・教職員や保護者，地域住民など，大人が率先してあいさつを行い，児童の良き手本となるようにする。
	<p>A11 児童は正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「児童は時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 教職員が正しい言葉遣いに努め，児童の手本となるよう心掛ける。</p> <p>② 学習の中での発表の仕方と人権に関する学習を関連づけながら人権意識を高め，相手の気持ちを押し量る指導の充実に努める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は79.7%↓（保護者71.0%→，地域住民82.9%→）であり概ね達成できているが，児童の意識の中にもあいさつと同様に「できていない」と判断している児童が20%近くいるため，状況を把握し指導していく。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員や保護者など大人が自ら率先して正しい言葉づかいを実践していく。 ・地域の方への言葉遣いも含め，引き続き指導していく。 ・地域の方にも正しい言葉遣いができるよう，折に触れご指導いただく。

教育活動の状況	健康・体力	<p>A12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 教科体育において、たっぷりと汗をかくくらいの運動量を確保したり、「石井っ子の体力づくり」を活用して意識付けを図ったりして、体力の向上を図る。</p> <p>② 縦割り班による共遊を実施して群れて遊ぶことの楽しさを味わわせたり、業間や昼休みの外遊びを奨めたりすると共に、「うつのみや元気っ子チャレンジ」へ積極的に参加をする。</p>	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は92.1%↑（保護者88.8%↓、地域住民94.1%→）であり達成できている。今後は、さらに教科体育の充実と元気っ子チャレンジなどへの学校をあげての積極的な参加により体力の向上へつなげていく。</p> <p>【次年度の方針】 ・教科体育の補強運動などで走る運動を積極的に取り入れ走力を高める。また、月に1回程度50mのタイムを計測し、継続して行うことで走ることへの意欲と走力を高めていく。 ・教科体育における運動量の確保と運動の楽しさを味わわせる指導の在り方について、教職員の研修に努める。 ・引き続き「うつのみや元気っ子チャレンジ」に全クラスが参加し、参加種目の拡大にも努めていく。 ・業間は「全員外遊び」を推奨していく。</p>
	学	<p>A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は好き嫌いなく給食を食べている」 ⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 日常の給食指導やランチルーム使用時に学校栄養職員との会食を通して、朝食の重要性や安全で体によい食べ物についてなど、食に関する指導を充実させ、意識の向上を図る。</p> <p>② 食育だよりやスタンダードダイアリーを活用し、保護者への啓発を図る。</p>	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は81.4%↑（保護者68.2%↓、地域住民91.3%↓）であり、昨年度を上回り目標値を達成している。引き続き指導の充実を図っていく。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校栄養職員が授業に参画したり、食生活学習教材を活用したりする。 ・児童の給食中の様子や食に関する指導の様子についても食育だよりに掲載するようにする。 ・給食だよりを月初めに発行し、食に対する関心を高めていく。 ・ランチルームの充実と有効活用を図っていく。 ・学校栄養職員とのTTなどで食育教材の活用を図りたい。 ・食育だよりやお弁当の日の取組を通して啓発に努め、家庭との連携を更に強化していく。</p>
	習	<p>A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」</p>	<p>① 児童に確かな学力をつけるために保護者に協力してほしい具体的な事柄を示した「石井っ子の学習」を配付し、家庭と連携して基本的な生活習慣を醸成したり、学習へ取り組む態度を育成したり、家庭学習の習慣を身に付けさせたりする。</p>	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は88.3%↓（保護者86.6%↓、地域住民95.8%→）であり、昨年度をやや下回っているが、達成できている。「石井っ子の学習」を作成して3年目になり学校の取り組みが少しずつ保護者に伝わり、協力が得られているものと考えられる。</p>

<p>⇒児童の肯定的回答 80% 以上</p>	<p>① 児童の得意な分野を更に伸ばす学習、または苦手な分野を克服する学習を自主学習として奨励し、顕著な取組を積極的に紹介し、自ら学ぶ態度を養う。</p>	<p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「石井っ子の学習」を配付して家庭との連携を継続するとともに、引き続き自主学習への取り組み方への指導にも力を入れていく。 ・一人一研究を継続し、個々の授業力向上を図る。 ・「石井っ子の学習」の配付による家庭との連携を継続するとともに、引き続き自主学習への取り組み方への指導にも力を入れていく。 ・学習の基礎である国語科の言語に関する能力をさらに伸ばし、説明や論述、話し合いなどの言語活動を方法・手段として効果的に取り入れ、思考力・判断力・表現力等を育てていく。 ・一人一授業を継続し、個々の授業力向上を図っていく。
<p>A15 児童は落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」</p> <p>⇒児童の肯定的回答 80% 以上</p>	<p>① 「発表のし方」「話の聞き方」を全教室に掲示し、学習態度・技能の定着を図るとともに積極的に取り組もうとする態度を育てる。</p> <p>① 朝の学習時にプリント学習や、漢字や計算等のミニテストを継続して行い、基礎基本を身に付けさせる。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は 84.6%↑（保護者 88.4%↓、地域住民 100%↑）であり、昨年度を上回り目標値を達成している。今後も引き続き指導の充実を図っていく。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムを考えた取組を載せてある「学びのノート」（ファイル）を有効活用し、発達段階を考えた指導やノートの使い方の共通理解をさらに図っていく。 ・朝の学習時にプリント学習や、漢字や計算等のミニテストを継続して行い、15分間の「朝の時間」の有効活用をし、基礎基本を身に付けさせる。
<p>B2 進んで本を読もうとする意欲をもち、読書が習慣化されている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「児童は、進んで本を読み、読書に親しんでいる。」</p> <p>⇒児童の肯定的回答 80% 以上</p>	<p>① 朝の読書活動時に読み聞かせを行ったり、読書週間を年2回実施したりすることにより、本に親しませ、読書活動の充実を図る。</p> <p>② 図書館だよりやBOOK新聞を発行し、保護者や児童への啓発を図りながら、読書活動の充実を目指す。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は 86.0%↑（保護者 88.6%↓、地域住民 96.2%↑）であり、昨年度を上回り目標値を達成している。今後も引き続き指導の充実を図っていく。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい本を導入してほしいという声が多々ある。本の修復や環境整備等ボランティアの方々にお世話になっており、とても助かっている。 ・朝の貸し出しがなくなっても、読書を読む子の来室があるので、朝の開館は継続したい。 ・「石井子どもと本の会」（ボランティア）の活動を継続依頼をし、読書活動の推進、充実を図っていく。 ・効果的な図書の貸し出しができるよう、貸し出し時間帯や冊数等、工夫改善に努める。（外遊びと読書活動のバランスを考慮する） ・オレンジブックの継続や司書によるブックトークを継続し、読書活動の充実をさらに図っていく。 ・次年度も「図書館だより」や「BOOK新聞」を定期的に発行し、保護者や児童へ読書に係る情報提供を積極的に行うことにより、家庭と連携した読書活動の充実を目指す。

本校の特色・課題等	B3 地域協議会と連携し、親子のふれあいや地域の方々との交流に努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、地域協議会と連携し、親子のふれあいや地域の方々との交流に努めている。」 ⇒保護者の肯定的回答80%以上	① 生活科や総合的な学習における体験的な活動を中心にして、地域の各種団体と連携し、地域の方々との交流を深める。 ② 学校支援ボランティアが活躍できる体制をつくり、学校の実態を十分に理解してもらった上で、連携・協働し、地域の学校づくりを進める。	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は87.8%↓（地域住民92.1%↓）であり、昨年度をやや下回っているが、達成できている。活動の理解が高まっているものと考えられる。 【次年度の方針】把握 ・学校支援ボランティアの活用については、ジャンプクラスの中ではとても効果的である。学生が目的意識をもって児童に接してくれる。宇大の3年生が中心。他方面でも活用していく。 ・「お掃除お助け隊」「夏休み作品振り分けボランティア」「お花咲かせ隊」等をはじめとする、地域や保護者のボランティアが活躍できる場面をさらに増やすことで、目的とする学校・家庭・地域の連携につなげていく。 ・地域協議会委員の方々ご助力に感謝するとともに、いただいた情報を学校経営に積極的に生かせるよう努めていく。
			B

〔総合的な評価〕

- 児童の肯定的回答80%を数値目標とした項目のすべて成果を上げることができた。特に、90%を上回る項目は、「自分は、今の学校が好きです。」(92.9%)、「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる。」(全項目中最高値97.7%)、「先生方の授業は、分かりやすく一人一人に丁寧に教えてくれる」(94.8%)、「私の学校生活や様々な活動は充実している。」(92.4%)、「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい。」(92.0%)、「休み時間や放課後など進んで運動している」(92.1%)等であることから、児童は、教職員・保護者・地域の方々に見守られ、明るく生き生きと学校生活を送っていることがうかがえる。
- 「あいさつ」「言葉遣い・返事」については、昨年度よりやや肯定的回答率が上昇しているが、保護者・教職員の肯定的回答率の低い項目となった。また、児童との認識のズレが大きい項目でもある。課題に対しては、様々な活動を行い、成果をあげ児童の姿に変容が見られたが、さらに、意識を高め、実践化を図る取組を地域学区園と連携し継続していく必要がある。
- 保護者の肯定的回答が90%を超えた項目は、「学校全体に活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。」(94.1%)、「教職員は協力し、教えるべきことを熱心に指導している」(92.3%)、「児童は授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」(90.6%)、「学校の日課、授業、行事、などは、適切に実施されている。」(96.3%)、「学校は、学校だよりや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している。」(92.0%)、「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」(92.4%)、「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」(92.1%)等、17質問項目中7項目で90%超えであることから、学校の取組に対して理解を示していることがうかがえる。
- あいさつ(65.8%)や食生活(68.2%)については問題があると考えているところがあり、今後は、教職員と連携し、よりよい日常生活が送れるように努めていく必要がある。
- また、情報公開については、自由記述において「もっと学校公開(授業参観等)してほしい」との要望も多く、公開日を増やしたり、学年だよりを工夫し、学校の取組や子どもの様子がうかがえる機会を増やしていく必要がある。
- 地域住民の回答状況は、「学校全体に活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。」(97.4%)、「教職員は協力し、教えるべきことを熱心に指導している」(100%)、「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」(91.2%)、「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている」(95.5%)、「学校の日課、授業、行事、などは、適切に実施されている。」(100%)、「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」(94.9%)等をはじめとして、16質問項目中15項目において90%超の高い肯定的回答を示した。引き続き学校への理解を深めていただくために、授業参観における授業の見どころ・道徳の授業全学級公開や学校だより・各種たよりの工夫、ホームページの充実等への取組を継続していく必要がある。あいさつについては、他に比べやや低い項目となり、今後、地域と連携を図った取組が必要である。
- 全体的に、ほとんどの項目において肯定的な回答が昨年なみとなっている。学校評価の結果を基に、来年度においても様々な点で改善策を検討したので、着実に実施できるよう努めていきたい。

6 学校関係者評価

- 全体的に見ると、各項目の数値目標がほぼ達成されている。児童は、先生方の熱心な指導のもと、元気に学校生活を送っている。
- 「あいさつ」「言葉遣い・返事」については、子どもたちの声が小さいし、言葉がはっきりしない。大きな声を出す経験や習慣が乏しいのではないかと。訓練をしてほしい。あいさつのもつパワーは大きい。学校だけでなく、家庭でのしつけや地域のかかわりも大切ではないかと。「あいさつ」は、まず大人から子どもたちにしていくことが大切である。子どもたちは、あいさつされれば返してくれる。自然に自分からあいさつできるようになるまで、繰り返し続けていくことで身に付くのではないかと。地域でも、各種行事等を通して、子どもたちが人と人とのコミュニケーションを図る上で大切なあいさつ等の基本的な生活習慣を身に付けられるよう積極的にかかわっていききたい。
- 登下校の安全確保については、パトロール隊を中心に、地域で熱心に取り組んでいるが、協力してくださるボランティアの方の高齢化が進み、減少している今、ボランティアの増員および保護者の方々の参加がさらに増えると安心である。また、道路の歩行のしかた等、交通ルールの指導をさらにお願いしたい。市教育委員会の進めるスクールゾーン設置に関わる取組を有効活用し、看板・文書・声かけを工夫していききたい。
- 授業参観やオープンスクールに参加した。先生方は、子どもたちへの指導を熱心に行っていた。「分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導」「自分の考えをきちんと表現できるような指導」等の項目は、日常的に学校の中に入って授業を参観し、教職員や児童の様子を見なければ評価できない。地域住民が「判断できない」と回答する率が高いので、自由に参観いただけるようアプローチしていくことや学校の取組を積極的に伝えていく工夫が必要ではないかと。学校からの案内をもとに、学校へ出向く機会を増やしたいと思う。
- P T Aと地域協議会相互の役割を意識しながら、共に力を合わせて子どもたち・学校そして地域のために活動していききたい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

- 今年度の成果と課題を受けた「次年度の方針」に基づき、児童がさらに充実した学校生活を送れるようにするため、「主な取組」を具体的に設定し、「評価指標」達成のための活動を積極的に推進する。「新学習指導要領」「宇都宮市学校教育スタンダード」「宇都宮市小中一貫教育推進計画」「宇都宮市小中学校体力向上計画」等の趣旨を踏まえ、見直しを図る。
- 「分かる授業」の具体的方策を工夫し実践することで、授業力を高め、学力向上への取組をさらに推進する。指導法の工夫、学習習慣の確立、家庭学習の充実等を通して、基礎・基本の確実な定着を図る。また、一人一授業を継続し、教職員同士の学び合いを通して、授業力を向上させる。
- 「読書活動の推進」では、学校・家庭において読書の日常化を広めるために、読書指導の工夫、学校図書館の活用の見直し、親子読書の勧め等を積極的に展開する。
- 「心の教育」を推進し豊かな心を育てるため、今後も、全学級一斉の道徳の授業公開、縦割り班活動（清掃、にこにこタイム等）、幼稚園・保育所との交流活動等、学校・家庭・地域が連携した取組をより一層推進する。
- 児童の体力・健康や食生活の向上については、「うつのみや元気っ子プロジェクト」に基づき、教科体育の充実、食育の推進を図る。体育的行事、児童主体の集会を計画・実践するなどして、遊びの日常化を図る。
- 「あいさつ」等については、今後も教職員が率先してあいさつを心がけ、さわやかで親切な対応に努め、児童・保護者・地域住民と積極的にコミュニケーションを図ることにより、連携・協力態勢を強化し、学校を核とした家庭・地域の教育環境の充実を図る。
- 児童一人一人を共感的に理解することを基盤に、個々のよさを認めながら自己存在感をもたせるような積極的な児童指導を推進するとともに、どんな問題も全校体制（組織的対応）で当ることを常に確認しながら進めることを継続する。
- 学校だより・各種たより・ホームページのより一層の充実を図り、学校の情報発信・提供に努め、さらに信頼される学校づくりを推進する。